

平成28年度 第2回 宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成28年7月22日（金）午後3時から午後4時35分まで
2. 場所 宮古市役所 分庁舎 3階 大会議室
3. 出席委員 19名
澤田克司、志賀政信、小野寺文雄、内田瑛子、盛合敏子、津田重雄
中野正隆、中村儀雄、山下修治、福井喜朗、高橋雅之、赤沼利彦、鈴木光子
戸田麻子、佐々木慶子、岩田博子、金野侑、三上政勝、中村一郎

4. 事務局出席者 16名
企画部長 山崎政典
復興推進課長 多田康
拠点施設推進室 室長 岩間健、同主任 竹田真人
都市整備部建築住宅課 建築係 主任技師 宇夫方徹
危機管理監危機管理課 防災係 係長 山崎正幸、同主任 高岡芳行
鹿島建設株式会社東北支店 4名
日本国土開発株式会社盛岡営業所 1名
株式会社三菱地所設計東北支店 2名
株式会社乃村工藝社東北支店 2名

5. 傍聴者 2名

6. 議題

検討事項 宮古市中心市街地拠点施設建設・実施設計（案）について

- 報告事項 (1)宮古市中心市街地拠点施設建設事業における関連工事について
(2)宮古市中心市街地拠点施設建設事業における地元企業の参画について
(3)宮古市庁舎跡地整備基本計画の検討について

※ 会議に先立って、新任委員（中村一郎委員）に委嘱状を交付（市長代理：企画部長より）

7. 議事録（要旨）

検討事項 宮古市中心市街地拠点施設建設・実施設計（案）について

主な意見及び質疑事項
質疑 ・防災士とはどういう資格なのか。
回答 ・日本防災士機構が認証している資格で、一定の試験を合格すると取得できる。宮古市には331人いる。自治体の職員もいるが、自治会や自主防災会の会長、民間事業者の方など一般の方も多い。（事務局）
質疑 ・アーカイブやセルフスタディにおいて、今回の震災だけではなく、過去の災害をどう捉えるのか。宮古市では過去に地震のない津波が発生したり、火災について江戸中期の古文書が残っている。

<p>回答</p> <p>・宮古市には膨大な量の記録が残っている。この防災展示学習ゾーンでは東日本大震災を中心に伝えていく。過去を振り返る大事な場所にもなるので、そこにスポットを当てた部分も織り交ぜていきたい。（事務局）</p>
<p>質疑</p> <p>・宮古消防署には、震災や津波の資料がある。全てを網羅することは不可能だが、学習機能をデジタル化して残すことが大半だ。津波だけではなく災害はたくさんあるので、将来に残せる学習機能にしてほしい。</p>
<p>質疑</p> <p>・将来的に運営を続けていくためには、熱意を持った人が必要になると思う。</p>
<p>質疑</p> <p>・盛岡市の新しい消防署に、盛岡市の玉山から都南までの地図が展示してある。計画施設でも津波がここまで来たと地図で示すことが必要だと考えるので、参考にしてほしい。</p>
<p>回答</p> <p>・検討したい。（事務局）</p>
<p>質疑</p> <p>・災害は津波が中心になると思うが、新里や川井など山には山の災害があるので、ぜひそれも入れていただきたい。</p>
<p>回答</p> <p>・津波に限定せずに検討したい。（事務局）</p>
<p>質疑</p> <p>・以前に石碑の調査を教育委員会で行っている。防災展示学習ゾーンにはポータル機能があるが、石碑などを実際に見たいという人もいると思うので、案内する機能が必要だと考える。</p>
<p>質疑</p> <p>・個々の部屋についてはいいと思うが、災害を伝えるためには現場を整備することが必要だと思う。</p> <p>防災士についてもっとわかるように説明してほしい。また積極的にPRしていくことも必要だと考える。</p>
<p>回答</p> <p>・防災士は全国で10万人おり、防災の知識がある人を育て、地域コミュニティで防災力の向上を図る目的がある。宮古市では331人いるが、1地域1防災士を目標に、研修会を宮古に誘致し、毎年100人規模で認定者を増やしてきた。（事務局）</p>
<p>質疑</p> <p>・陸前高田市では県と市でそれぞれ別の施設を計画している。施設ごとに連携することも大事だが、役割分担をすることも必要だ。</p> <p>地元の人は1回見ると来ない。防災などについて学び、教えあうことが重要で、市民団体を中心に多くの市民に関わってほしい。</p>
<p>質疑</p> <p>・学ぶ防災は現在田老で行われている。重茂も東日本大震災で42mの津波を観測してお</p>

<p>り、重茂に学ぶガイドを置かないのか問い合わせたが、予定はないとの返事だった。また、重茂には津波関連の石碑があるが、目立たないところにあるため、わかりにくい。実際に災害について学ぶためには現場に誘導すべきだ。</p> <p>久慈市の消防署の展示コーナーでは、小学生向けのクイズコーナーなどがあった。</p>
<p>質疑</p> <p>・防災学習の映像展示は展示替えを想定するのか。注意喚起する意味でドキュメンタリー映像を公開するのも効果的ではないか。</p>
<p>質疑</p> <p>・展示は固定ではなく、動きのあるものにしてほしい。ゾーンには順路を用意するのか。</p> <p>回答</p> <p>・展示の仕方など、詰めた段階で計画をお示ししたい。(事務局)</p>
<p>質疑</p> <p>・避難通路の掲示板は何を掲示するのが大事だ。鎌倉にある通路では教育委員会で賞に選ばれた作品を展示しており、見ごたえがあった。</p>
<p>質疑</p> <p>・音楽スタジオ等あると思うが、料金設定についてはどうなるのか。</p> <p>回答</p> <p>・これから比較して検討していくことになる。交流センターの運営を含めて諸室をどう使っていくか、これから皆さんに議論していただくことになる。(事務局)</p>

報告事項

- (1) 宮古市中心市街地拠点施設建設事業における関連工事について
- (2) 宮古市中心市街地拠点施設建設事業における地元企業の参画について
- (3) 宮古市庁舎跡地整備基本計画の検討について

<p>主な意見及び質疑事項</p>
<p>質疑</p> <p>・地元企業の比率はどの程度か。</p> <p>回答</p> <p>・工事に関しては鹿島建設が60%、日本国土開発が20%、地元企業が20%となる。(事務局)</p>
<p>質疑</p> <p>・先日、跡地のプロポーザルを見させていただいた。三菱地所が設計を行うのか。</p> <p>回答</p> <p>・提案されたものをそのまま採用するコンペと違って、プロポーザルでは出された課題に対してどう答えるかを評価し業者を選ぶ方式である。これから要望を盛り込みながら仕上げていく。(事務局)</p>

8 その他

なし

(事務局連絡) 次回の開催は、別途案内する。

以上、閉会。